

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



令和2年2月21日(金)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

進化し続ける生徒会をめざして 第2回生徒会総会 開催

2月20日(木)には「第2回生徒会総会」が実施されました。2年橋本華奈さん、1年赤沼恵悟君の2名が議長を務め、執行部、専門委員会及び部活動からの活動報告、会計報告がなされ、それらに対する質疑応答が行われました。また、現在の緑化委員会が来年度から「環境委員会」と改称されることになりました。会では、次のような報告がありました。給食委員会からは、「各クラスの給食委員が残菜を減らすためのアイデアを出したり、呼びかけをしたりしたおかげで牛乳残数がかかり減った。」、男子ソフトテニス部からは、「チームとして、技術だけでなく、人間力を高め合うことができた。しかし、まだチームとしてまとまっていない部分があるので、まとまっていけるように日々の練習に取り組んでいきたい。」など、それぞれの活動状況が分かる報告が多くありました。また、質疑応答においても、全校生に対するアピール



二瓶生徒会長の挨拶



議長の橋本さん・赤沼君



◆◆◆◆◆活動報告と質疑応答の様子◆◆◆◆◆

の仕方の工夫や中庭の活用など、これからの活動が良き方向へ向かうための建設的な意見も出されました。ただ、会のはじめの校歌の声が小さく、やり直しをした点については、よく考えてほしいと思います。卒業式を間近に控えた生徒会総会だからこそ、盛大な校歌合唱を期待していたのですが、残念な気持ちになりました。2・3年生は体感しているはずですが、富中の過去の卒業式での式歌や校歌のスケールの大きな合唱。なぜ、それが他の場面ではできないのか。校歌に誇りをもって、いつでも大きな声で校歌を歌える学校であってほしい。ここぞ!という時は、手を抜かずにやり遂げてほしいと思います。

生徒会は生徒のためにある組織です。生徒一人一人が生徒会の一員であり、主役です。生徒会は教師から与えられた仕事をこなすためにあるものではありません。誰かが学校を良くしてくれることを望むのではなく、自分が学校を良き方向へ変えるために何ができると、それを自分に問い続けてほしい。そんな思いをこれからの生徒会に託したいと思います。会の準備・運営にあたってくれた生徒会執行部・専門委員会委員長・部活動部長の生徒、議長を務めた2名の生徒、ご苦労さまでした。

五十嵐君『郡山市小中学生優秀選手賞』 舟見さん、佐藤さん『郡山市文化芸術振興褒賞』受賞!

郡山市からの賞を受けた五十嵐君、舟見さん、佐藤さんの3名 ↓

3年五十嵐永陽君が「郡山市小中学生優秀選手賞」を受賞しました。中体連水泳競技において、県大会400m個人メドレー第1位、東北大会200m個人メドレー第3位の実績を評価されての受賞です。また、3年舟見咲樹さんと2年佐藤里南さんの2名が「郡山市文化芸術振興褒賞」を受賞しました。この賞は、音楽分野における全国大会等に出場した団体及び個人に与えられる賞で、舟見さんは、第5回スタインウェイ・コンクール in Japan地区審査会(ピアノ演奏)で最優秀賞を獲得し、全国大会(本選)出場を決めました。佐藤さんは、第13回ベートン音楽コンクール関東地区本選(ピアノ演奏)バロックコースで優秀賞となり、全国大会に出場しました。2名ともその功績が称えられての受賞です。3名の生徒達へ、水泳、音楽の道での今後の更なる活躍を祈ります。受賞おめでとうございました!



The Professional

学校を陰から支える職員

NHKで放送されている『プロフェッショナル 仕事の流儀』。様々な分野の第一線で活躍する一流のプロの「仕事」を徹底的に掘り下げるドキュメンタリー番組です。この番組を観るにつけ、本校にも同じような“Professional”と言える存在がいることを思い浮かべます。

まずは、用務員の古川昇さん。平成19年度から13年間という長きにわたり本校に勤務し、職員の中で、この富中を一番よく知っている方でもあります。毎朝7時頃には出勤し、ゴミの収集に始まり、廊下・階段の掃き掃除、灯油の管理などを行います。積雪の日には誰よりも早く出勤し、除雪作業や融雪剤散布を行い、夏の猛暑の中での除草作業、樹木の剪定、秋は大量の落ち葉の処理、さらに施設や備品に破損や故障があればすぐに修繕・修理にあたってくれます。大雨で雨漏りし歪んだ1階ワークスペースの床を一枚一枚見事に再生してくれたこともありました。生徒が安全に生活できているのも、来校者や保護者の方々から校舎内外が綺麗で整備されているとよくお褒めの言葉を頂くのも、これらの古川さんの働きによるところが大きいと考えます。必ず学校の何処かで黙々と作業するその働きぶりには本当に頭が下がります。「大変ですね」と言うと、「仕事ですから」といつも短く答え、多くを語らない古川さん。まさにその姿に“プロ意識”を感じます。

次に、主査の鈴木靖三さん。県や市から学校に配当されるお金のやりくり等の会計事務、生徒・教員が授業等で使用する備品の購入・管理などをつつがなくこなしてくれています。豊かな経験を有し、学校事務に大変精通している鈴木さんには、いつも安心して仕事を任せることができます。“Professional”という言葉がまさにぴったりとあてはまる仕事ぶりです。

そして、その他にも、古川さん、鈴木さんと同様に学校を陰から支える存在がたくさんいます。鈴木さんをサポートする主事の渡辺誠子さん。諸会費事務や学校に毎日大量に来る文書の管理、来客への対応等にあたってくれています。さらに、本校勤務9年目となる学校司書の佐藤絵理香さん。本の貸し出し作業はもちろん、「今日は何の日？」等の図書室の廊下の展示、図書委員会の生徒達が作成する掲示物への指導等、一冊でも多く良書に親しんでほしいという願いをもって図書館運営にあたってくれています。

さらに、毎日の給食の配膳を行ってくれている木戸明子さん、三瓶美香さん、大内美佳子さんの配膳員の方々。生徒のみんなには、これらの学校を陰から支える存在がたくさんいるということ、学校が機能するためには、こういった職員の方々力がなくてはならないということを確認してほしいと思います。

仕事の流儀には、その人の生き方が現れると言います。ここにあげた方々は、いずれも自分の職務に対し、誠実に向き合い、誠実に取り組んでいるという点も忘れてはならないことです。学校を陰から支えてもらっている職員の方々に改めて感謝します！

保護者の皆様へ



授業参観、学年懇談会へのご参加ありがとうございました！

2月14日（金）に行われました今年度最後の授業参観及び学年懇談会へのご参加ありがとうございました。授業での生徒達の姿、いかがだったでしょうか？この1年間で、生徒達は確実に成長を遂げています。学年懇談会でも、生徒達の伸びてきた点、改善点等について各担当から話があったと思います。3年生は卒業に向けて、1・2年生は進級に向けて重要な時期となります。卒業・修了後の春休みの過ごし方も含め、保護者の皆様の更なるご協力・ご支援をお願いいたします。

また、ひとつお知らせがあります。学校の施設面で、保護者の皆様からのご要望も多く、本校の懸案事項であったトイレの改修（洋式化も含む）が、来年度から行われることがほぼ確定しました。

新型コロナウイルスにつきまして、特に修学旅行への対応が課題となっておりまいた。学校単独の判断ではなく、郡山市中学校長会として、今後、県内や国内の中学校等の動向も踏まえ、教育委員会等との連携を図りながら、適宜対応してまいります。日々変化する状況を注視しつつ、新たな情報等が入れば、その都度、保護者の皆様にもお知らせいたします。よろしくお願いたします。

